

情報処理学会四国支部平成 26 年度報告会

日時：平成 27 年 6 月 12 日（金） 14:30～16:30

場所：徳島大学工業会館 2 階 メモリアルホール（徳島市南常三島町 2-1 徳島大学工学部内）

1. 支部報告会 14:30～15:00

- 開会の辞
- 支部長挨拶 ー徳島大学大学院 教授 獅々堀 正幹 支部長
- 本部役員挨拶 ー情報処理学会 後藤 真孝 理事
ー情報処理学会 下間 芳樹 事務局長
- 報告事項
 - ・平成 26 年度事業実施報告および平成 27 年度事業実施計画について（資料 1）
 - ・平成 26 年度決算報告および平成 27 年度予算案について（資料 2）
 - ・平成 27 年度支部運営委員改選結果および平成 27 年度支部運営委員について（資料 3）
 - ・平成 27 年度電気関係学会四国支部連合大会の開催について（資料 4）
- 閉会の辞

2. 講演会 15:00～16:30

題目：

音楽情報処理が切り拓く未来

講演者：

後藤 真孝 氏（産業技術総合研究所 情報技術研究部門 首席研究員）

概要：

本講演では、音楽を制作する場面、鑑賞する場面の両方において、音楽情報処理技術がどのような新たな可能性を切り拓いていくのかを議論する。音楽制作では、歌声合成技術の普及によって、「人間の歌声でなければ聴く価値がない」という旧来の価値観が打破され、様々な連鎖反応が起きたことを紹介する。さらに、人間の歌い方を真似る歌声合成技術「VocaListener（ばかりす）」や歌うロボットの研究を紹介する。一方、音楽鑑賞では、音楽理解技術に基づく Web サービスとして研究開発中の「Songle」（<http://songle.jp>）と「Songrium」（<http://songrium.jp>）を紹介する。エンドユーザが直接恩恵を受けることができる音楽情報処理は、これから大きく発展していくことが期待される。

講演者ご略歴：

1998 年早稲田大学大学院 理工学研究科 博士後期課程修了。博士（工学）。現在、産業技術総合研究所 情報技術研究部門 首席研究員 兼 メディアインタラクション研究グループ長。IPA 未踏 IT 人材発掘・育成事業プロジェクトマネージャー、情報処理学会理事等を兼任。日本学士院学術奨励賞、日本学術振興会賞、ドコモ・モバイル・サイエンス賞 基礎科学部門 優秀賞、科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞、情報処理学会 長尾真記念特別賞、星雲賞等、40 件受賞。音楽情報処理の研究を 23 年間推進。

	会議名	開催日	会場	出席
[1]	支部報告会	平成26年6月6日	香川大学工学部	18名
[2]	定例役員会 3回 第一回支部役員会 第二回支部役員会 第三回支部役員会 第四回支部役員会(平成27年度第一回支部役員会)	平成26年6月6日 平成26年12月20日 平成27年3月31日 平成27年6月12日	和食輝てん ホテルクレメント徳島 ホテルクレメント徳島 徳島大学工学部工業会館	14名(幹事、支部委員 H25年度役員含む) 10名(幹事、支部委員) 11名出席(幹事、支部委員) 13名出席(幹事、支部委員 H26年度役員含む)
[3]	支部大会 2014 電気関係学会四国支部連合大会	平成26年9月13日	徳島大学工学部	参加者数573名
[4]	支部講演会 8回 ビッグデータ時代の ICT と組込みシステム 講師:中村 祐一 氏(日本電気(株)) 仮想環境を利用した移動ロボット円滑操作技術—実空間と仮想空間の融合を目指して— 講師:加藤 由花 氏(東京女子大学現代教養学部 数理科学科) 医療分野ビッグデータの可能性 講師:荒牧 英治 氏(京都大学 学際融合教育研究推進センター) M2M を実現する 0.5V 動作極低消費電力回路とシステム 講師:篠原 尋史氏(株式会社半導体理工学研究センター) ソフトウェア要求工学, 今何を研究すべきか? 講師:古宮 誠一 氏(国立情報学研究所) 実際の現場で活躍するソフトウェアテストエンジニア 講師:長谷川 聡 氏(北都システム株式会社) Automatic Text Classification 講師: Mohammad Golam Sohrab 氏(豊田工業大学) 21世紀を担う創造的IT人材の育成 —デジタルビジネス時代に求められる人材— 講師:菊池純男(高度情報通信人材育成支援センター事務局 長・理事、日立製作所)	平成26年5月28日 平成26年6月6日 平成26年6月6日 平成26年7月23日 平成26年11月28日 平成26年12月12日 平成26年12月25日 平成27年3月12日	愛媛大学工学部 香川大学工学部 愛媛大学工学部 愛媛大学工学部 香川大学工学部 香川大学工学部 徳島大学工学部 愛媛大学工学部	56名 30名 48名 34名 34名 55名 25名 63名
[5]	支部事業 6回 愛媛大学工学部情報工学科プログラミングコンテスト 情報教育シンポジウム IPv6 Summit in MATSUYAMA 2014 少年少女ロボットセミナー in 高松2014 ソフトウェアテストシンポジウム2014四国(JaSST' 14 Shikoku) 情報セキュリティシンポジウム道後2015	平成26年8月12日 平成26年8月24日～8月26日 平成26年9月25日 平成26年10月18日～10月19日 平成26年11月14日 平成27年3月12日～3月13日	オンライン オリビアン小豆島 愛媛新聞社ホール e-とびあ・かがわ 香川大学 松山市立子規記念博物館	43名 88名 78名 60名 100名 634名(延べ)
[6]	学生奨励賞 電気学会四国支部、電子情報通信学会四国支部と合同で表彰			

■H27年度(2015年度)事業計画

	2015年度事業として、下記の事業を計画し、会員相互の啓発と交流を図る。
【1】	支部報告会 新年度役員、2014報告、2015計画、収支状況の報告など 記念講演会
【2】	支部役員会等 4回 支部幹事および支部委員合同会議を実施する。
【3】	支部大会 電気系学会四国支部連合大会を共催(電子情報通信学会四国支部が事務局担当)し、支部会員の研究発表の場を設ける。
【4】	支部講演会 講演会を実施・後援する。実施にあたっては、四国各県でバランス良く開催し、支部会員にとって有意義なテーマを選定する。
【5】	支部共催事業 四国で開催される情報分野のセミナー等を共催する。予定されているセミナー等は以下である。 ・ソフトウェアテストシンポジウム四国 ・四国オープンソースセミナー(オープンソースカンファレンス) ・愛媛大学工学部情報工学科プログラミングコンテスト ・情報セキュリティシンポジウム道後
【6】	表彰 電気学会四国支部、電子情報通信学会四国支部と合同で支部奨励賞(学生対象)等を贈呈する。 (情報処理学会四国支部が支部奨励賞事務局担当)
【7】	その他 FIT2015への支援・補助などを検討・実施する。 四国地区における情報関連学会との交流を図る。

■平成26年度決算報告および平成27年度予算

収入	H26年度(2014年度)		H27年度(2015年度)
	予算	決算	予算
本部からの繰入相当額	1,327,000	1,327,000	1,433,000
支部交付金相当額	1,327,000	1,327,000	1,433,000
記念事業支援金相当額	0	0	0
事業収入	0	333,312	0
支部大会	0	333,312	0
講演会	0	0	0
研究会	0	0	0
補助金収入	0	0	0
雑収入(利息等)	0	15	0
当期収入合計(A)	1,327,000	1,660,327	1,433,000

支出	H26年度(2014年度)		H27年度(2015年度)
	予算	決算	予算
事業費	800,000	1,277,021	880,000
支部大会	240,000	260,000	300,000
講演会	240,000	956,642	250,000
研究会	240,000	0	250,000
学生奨励賞表彰	80,000	60,379	80,000
管理費	527,000	427,003	553,000
評議員会・幹事会	410,000	368,360	410,000
総会	50,000	11,520	50,000
事務委託会社への委託費	0	0	0
ホームページサーバ使用料	50,000	35,640	50,000
その他(連合大会引継旅費)	17,000	9,160	43,000
雑費	0	2,323	0
予備費等(任意)	0	0	0
当期支出合計(C)	1,327,000	1,704,024	1,433,000
当期収支差額(A-C)	0	-43,697	0

平成 27 年度電気関係学会四国支部連合大会発表論文募集要項

平成 27 年度電気関係学会四国支部連合大会を下記要領により開催します。奮ってご投稿下さい。

実施日	平成 27 年 9 月 26 日 (土) (一般講演、懇親会)
場所	高知工科大学香美キャンパス教育研究棟 A (A 棟) (高知県香美市土佐山田町宮ノ口 185)
講演資格	講演者は、 <u>下記主催学会の会員 (学生会員を含む)</u> であること。ただし、企業からの発表についてはこの限りではない。留学生については、国内外の電気関連学会の会員であれば講演資格を有する。また、申し込み時に入会手続き中である場合は、8 月末までに入会手続きを完了すること。
講演部門	「基礎」、「放電物理」、「電力」、「電気機器」、「パワーエレクトロニクス」、「照明・電熱」、「計測」、「制御」、「電子回路」、「計算機」、「材料」、「通信」、「映像メディア・画像処理」、「医用生体工学」、「人工知能」、「ネットワーク・セキュリティ」、「情報処理応用」、「情報システム」 (ただし、発表部門は実行委員会において変更する場合があります。)
講演内容	最近行った主催学会に関連ある研究、調査、設計、開発、工事報告、現地試験報告などで、学術的価値があるものとする。すでに発表済みのもの、あるいは発表予定の内容と著しく類似するものは受理しない。
講演件数	講演は一人一件に限る。ただし、同一人が数件の投稿論文の共著者になることは差し支えない。
講演形態	口頭発表 (質疑応答を含め 10 分間)。事務局が液晶プロジェクタを準備するので、発表者はパソコン等を用意すること。
講演論文	実行委員会指定の「論文原稿見本」に従うこと。図面、写真等を含めて <u>A4 版用紙 1 ページ</u> の原稿を、ワープロ等を用いて作成すること。 <u>指定の様式から外れた原稿は受理しない</u> (特に、A4 版用紙であること、上端 30mm、下端 25mm、左右各々 18mm の余白を残すこと、講演題目の左に講演番号を挿入するための余白を 50mm 以上確保することに注意)。
講演申込	講演申込方法は、6 月中旬頃に下記の連合大会ホームページにて案内する。
投稿期限	原稿は、平成 27 年 7 月 31 日 (金) 17 時までに下記ホームページから投稿すること。投稿期限は延長しない。投稿期限後の変更・訂正には一切応じない。
講演言語	論文および発表言語は、日本語または英語とする。
諸費用等	大会参加費 (論文集 (CD-ROM) 代を含む。) は、銀行口座振込により送金すること。振替手数料は申込者負担とする。送金者名の前に受付番号を付記すること。 <u>複数名を同時に送金する場合は、全員の氏名および受付番号を電子メールで事務局宛通知すること。</u> <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加費 (論文集 (CD-ROM) 代を含む) <u>事前登録 (9 月 5 日までに送金・登録が完了すること)</u> 正会員 3,000 円、非会員 3,500 円、学生会員 (発表者) (留学生を含む) 1,000 円 ※聴講のみの学生は事前登録により参加費が無料となる。
事務局	振込先 四国銀行 よさこい咲都支店 普通預金 5157145 電気関係学会四国支部連合大会 会計幹事 密山 幸男 (デンキカンケイガクカイコクシブレンゴウカイカイケンジ ミヤマ ユキオ) 現地登録 正会員 4,000 円、非会員 4,500 円、学生会員 (発表者) 2,000 円、学生 (聴講のみ) 1,000 円
事務局	〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口 185 高知工科大学情報学群内 平成 27 年度電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 事務局担当 TEL : 0887-53-1020 (呼 : 吉田真一) E-mail : meeting@sjciece.org
ホームページ	<u>一般講演、懇親会等の詳細および連合大会事務局からの連絡は、随時ホームページを通じて行う。</u> 電気関係学会四国支部連合大会ホームページ http://sjciece.org/
主催	電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、照明学会、映像情報メディア学会、計測自動制御学会、IEEE、電気設備学会 各四国支部
その他	優秀論文発表に対して次の表彰がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・電気関係学会四国支部連合大会 優秀発表賞および英語発表奨励賞 ・電気学会論文発表賞 B (35 歳以下の電気学会会員対象)